

陽南地域学校園食育だより

陽南地域学校園では年間を通して、校内放送や委員会活動、栄養士の指導等による正しい食事マナーの指導を行っております。

正しい食事マナーは、一生の宝物です。ぜひ、ご家庭でも子どもたちのマナーについて、ご確認をしていただけたらと思います。

- ・陽南中学校
- ・陽南小学校
- ・緑が丘小学校
- ・陽光小学校
- ・横川西小学校



陽南小学校

では、6月12日（月）から16日（金）までマナー週間を実施しました。6年生の給食委員会の児童が、お昼の校内放送で食事のマナーについて呼びかけ、階段にポスターを掲示したり、栄養士が紙芝居を使って気をつけて欲しい給食のマナーの事をテレビ放送したりしました。終了後は「マナー週間だけではなく、ずっと頑張るね。」と声をかけてくれる子どもたちでした。



横川西小学校

では、「正しいはしの持ち方」をテーマに、給食委員会と給食の献立で様々な取り組みを行いました。給食委員会は各クラスに訪問し、正しいはしの持ち方の指導とともに子どもたちのはしの持ち方をチェックし、アドバイスしました。正しいはしの持ち方チェックは年に2回行い、年間を通して正しいはしの持ち方ができるよう取り組んでいます。

給食では、はしの使い方を学ぶ「おはし名人献立」を提供しました。給食の料理を、はしを使って「つかむ」「まぜる」「切る」「くるむ」という献立です。毎日栄養士からチャレンジプリントが教室に配られ、そのプリントを見ながら子どもたちは熱心にはしを使っていました。



陽南中学校

では、【給食時間を通し、正しい食習慣を身に付ける】という目的で食事マナーアップ週間を設け、給食時間中に給食委員会が食事マナークイズを行いました。内容は「給食の準備・後片付けについて、食事の正しいマナーについて、食への感謝の気持ちについて」です。また、調理員さんからのメッセージも聞き、改めて食を大切にしようとする気持ちも高まりました。



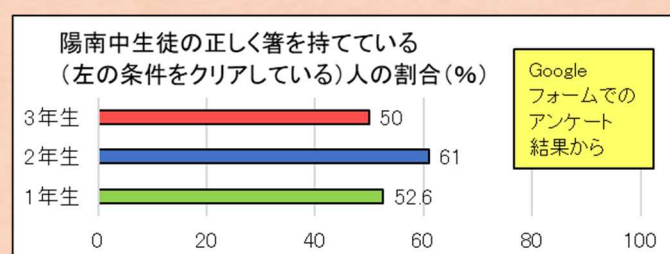
アンケートでは、はしを正しく持てている生徒が5～6割程度であったため、給食だよりや校内の掲示物で正しい食事マナーについて啓発を図りました。

～正しく箸が持てているとは～

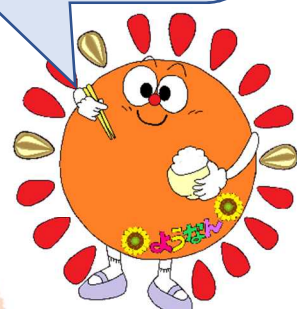
☆親指・人差し指・中指の3本で上の箸を持っている。

☆下の箸は一切動いていない。

☆箸先を合わせると、カチカチ音になる。



正しいマナーは、食事をスムーズに進められ、周りの人と楽しく食事をすることができます。自分のため、周りの方のために身に付けるよう心がけましょう。



陽南地域学校園食育イメージキャラクター「食べ太陽くん」

緑が丘小学校

では「おはしの正しい持ち方」の指導を行いました。

食事マナー週間の間、各クラスにはしの正しい持ち方を書いたラミネートシートを配り、担任が指導を行いました。また、給食委員会の児童により食事マナー週間のお知らせや、やってはいけないはしの使い方を放送しました。

児童集会では、委員会発表として舞台上で「食事中にやってはいけない食べ方」を劇にしました。劇を行うことで子どもたちにマナーを守って楽しく食べる意識づけができたようです。

学校全体で取り組むことにより、はしの持ち方の再確認や、食事のマナーについて一人一人が真剣に覚えることができ、よい機会になりました。



陽光小学校

では、6月の食育月間で「おはしの正しい持ち方」の指導を各クラスで行いました。

はしの正しい持ち方を最初に説明し、手前の班から確認していきました。その後、「〇〇をおはしでつかんでみましょう」という栄養士のかけ声に合わせて、自分たちで正しいはしの持ち方や正しくはしを使うかを確認しました。実際に自分で確認することで、「正しいおはしの持ち方で、正しくおはしを使うこと」の大切さを知ることができたようです。その後「今、お家で練習しているよ。」と声をかけてくれる児童や、給食の時間にはしの正しい持ち方を確認してくれる児童が多く、食育月間は正しいはしの持ち方を改めて確認できるよい機会になりました。

